

病院だより 12月号 昭和大学横浜市北部病院

2023年12月1日 発行

通算 第186号

巻頭言 一着任のご挨拶ー

平素は当院の救急診療にご協力いただき、誠にありがとうございます。
昨年10月1日より救急診療科の診療科長補佐として着任いたしました
加藤晶人（かとう あきひと）と申します。私は昭和大学を卒業後に市中
病院での臨床研修を終了し、市中病院・昭和大学病院・昭和大学藤が丘病
院など、いくつかの病院で臨床経験を積んできました。

当院救急センターは、救急診療科医師と精神科を含めた各診療科からの
院内応援医師により、主に救急搬送された方の診療をおこなっています。
緊急入院・手術・処置が必要になった場合には、院内の専門診療科と連携
することで専門診療につなげていきます。救急診療科のみで診療が完結す
ることは少なく、その後の外来診療・入院診療へ適切につなげていくため、
当科としての通常外来診療や予約診療は行っておりません。夜間・休日は
救急車で搬送される方に加え、直接来院される患者さんの診療にもあた
っています。

当院は、横浜市の二次救急拠点病院A（心肺停止・ショックなどの重症
な方を受け入れる病院）の指定を受けています。重症の患者さんも積極的に受け入れることで、地
域の救急医療に貢献しています。また、救急隊員と密に連携することによっても、地域医療の充実
と向上に努めています。

周辺に多数の急性期病院（病気や怪我の発生から14日以内の「急性期」にある患者さんに医療
を提供する病院）がある青葉区とは異なり、都筑区には当院以外に規模の大きな急性期医療機関が
ありません。そのため、地域住民や周辺診療所から寄せられるニーズ・期待は非常に大きいものだ
と考えられます。

私の着任時には新型コロナウイルスの第7波が収束しつつあり、第8波に備えている状態でした。
予想通り第8波が襲来した際には、コロナウイルス感染症の対応はもちろんのこと、通常の救
急診療を維持すべく、救急外来の整備を行いました。具体的には、発熱患者に対応できる診察室の
増設や、各診察室のモニターをまとめて管理できるセントラルモニターの設置を行いました。その
ため、第8波の期間中は救急患者の受け入れ数は例年に比べても減少することなく、むしろ多くの
患者さんを受け入れることができました。

2023年3月31日に、マスク着用については個人の判断が基本となり、同年5月8日には新
型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられました。さらには、第9波の襲来とともに
例年より早くインフルエンザが流行しましたが、第8波中の整備のおかげで、より多くの救急患
者さんを受け入れることができています。

本学の建学の精神である「至誠一貫」（常に相手の立場に立ってまごころを尽くす）を体現し、
横浜市北部地域の医療に貢献したいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。



＜救急センター＞
加藤 晶人 准教授

12月

- P1. 【巻頭言】一着任のご挨拶ー
- P2～3. 【医学講座コーナー】クオリティ・インディケーターについて
- P4. 【お知らせ】市民公開講座・ボイラー祭の実施のお知らせ
大みそかの病院食について
- P5. 患者さんからのご意見・ご要望
- P6. 【お知らせ】年末年始の外来診療休止について
【編集後記】

【医学講座コーナー】 クオリティ・インディケーターについて

(クオリティ・インディケーター委員会 緒方 浩顕)

1. 「クオリティ・インディケーター」とは

「病院だより」8月号では、医療機関の評価法の1つである「クオリティ・インディケーター (QI)」をご紹介しました。QIは「医療の質」を評価する指標の1つであり、多くの医療機関が項目や測定法を統一化した QI を測定し、公開しています。医療機関間の差を確認するツールとして使用することもできますが、医療機関の特性や地域性なども影響しているため、測定法が同じでも、単純に比較しては問題を生じることも指摘されています。QI を測定する意義は、これを継続的に測定することにより、各医療機関が自らの問題点を客観的に把握・評価し、医療の質をさらに向上させるための改善策を講じられる点にあります。

8月号に引き続き、北部病院のいくつかの QI を紹介し、その現状をまとめてみます。

2. 退院後4週以内の予定外入院率

北部病院では、効率的で低侵襲^{ていしんしゅう}（患者さんの負担が少ないこと）な医療を推進しています。そのため平均入院期間は9-10日と短いですが、退院しても予定外の再入院となれば、患者さんやそのご家族に大変な負担となります。前回の入院に全く関係のない怪我や疾患で再入院される場合もありますが、元の疾患の再発・悪化や合併症のために再度入院となる患者さんもいます。「退院後4週以内の予定外入院率」は、医療の質の重要な指標の1つです。

下の図1に示すように、「退院後4週以内の予定外入院率」（赤線）は4%台から徐々に低下し、2022年度には2.9%となりました。これを0にすることは極めて困難ですが、短い入院期間で原病や外傷をしっかりと治療し、再入院例を少なくすることに努力してまいります。また、「予定外入院」の原因についても検証し、今後ご報告したいと考えています。

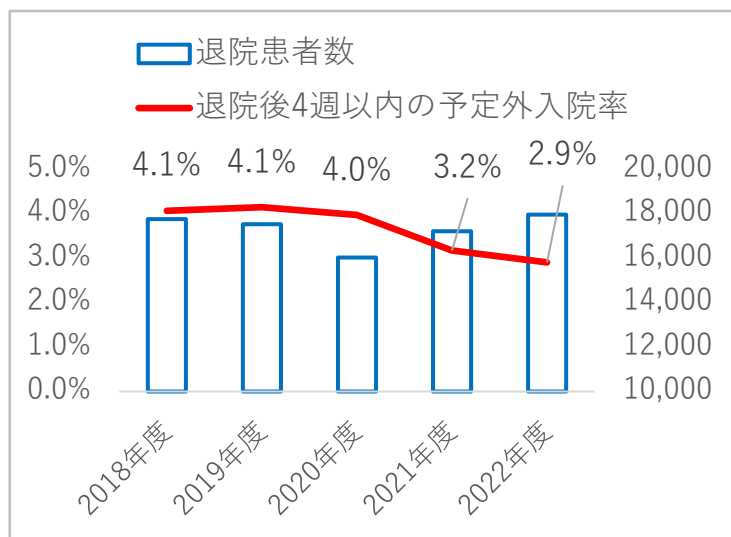


図1：退院患者数と退院後4週以内の予定外入院率

3. インシデント・アクシデント報告

重大な事故（アクシデント）は突然起こる場合よりも、先行してインシデント（「アクシデント」の一步前、ヒヤリ・ハットした経験）が発生している場合が非常に多いことが知られています。医療には一定のリスクや不確実性が存在するために、リスクを減少させる不断の努力が必要です。このために、北部病院では職員全員に「インシデント・アクシデント報告」を義務付けており、その報告を解析、検討することにより業務を改善し、より安全な医療を提供していきます。

【医学講座コーナー】 クオリティ・インディケーターについて

(クオリティ・インディケーター委員会 緒方 浩頭)

次の図2に示すように、インシデント・アクシデントの年間報告件数（棒グラフ）及び100病床あたりの月間報告件数（折れ線グラフ）は、ともに増加傾向にあります。これは、インシデント・アクシデントが実際に起こる数が増えたというよりも、「進んでインシデント・アクシデントを報告する」という、医療安全の意識が浸透してきたためだと考えております。

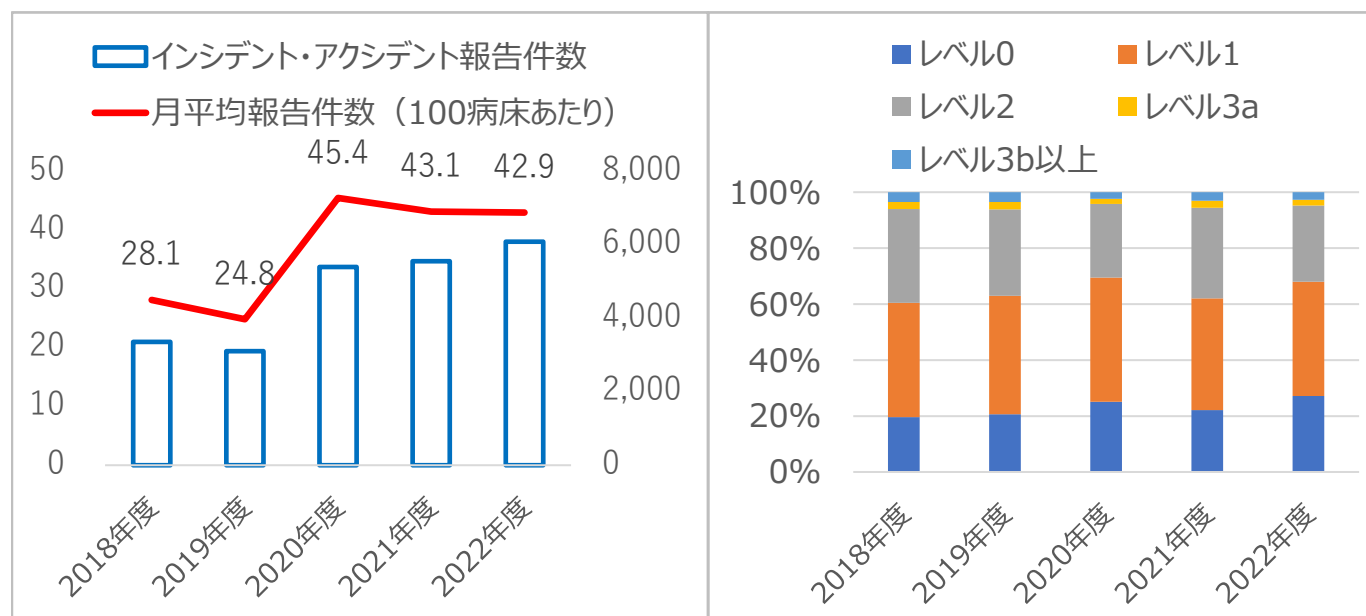


図2：インシデント・アクシデント報告件数と月平均報告件数（100病床あたり）

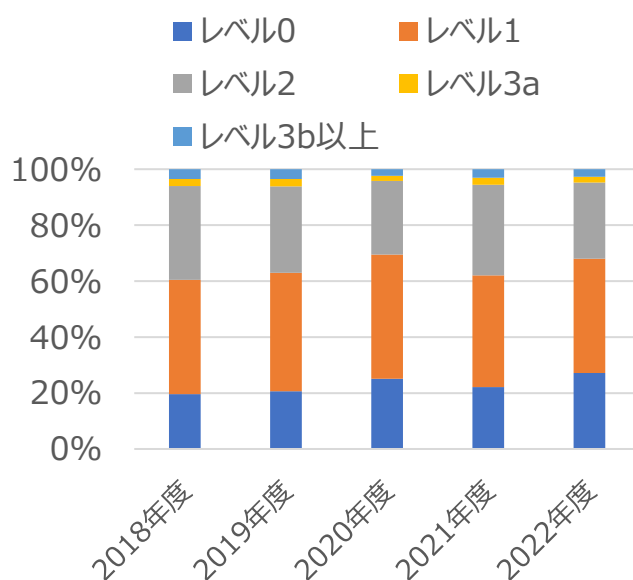


図3：影響レベル別の報告数の割合

上記の図3は、インシデント・アクシデントの影響レベル別の報告数の割合の推移を示しています。2022年度は約6,000件の報告がありましたが、そのうち患者さんへの影響がない、または軽微なインシデント（影響レベル0～3a）の報告が約97～98%を占めています。有害事象と言われる影響レベル3b以上の件数は全体の2～3%であり、その数字は減少傾向にあります（2018年度は2.9%でしたが、2022年度は2.3%でした）。

些細なことでも気兼ねなく相談・報告が出来る職場環境は、安全な医療の実現のために極めて重要で、職員のインシデント・アクシデント報告数は、医療安全文化の指標とされています。インシデント報告の増加は、些細なことでも報告するという、医療安全の文化が醸成されてきていることを表していると考えられます。

4. おわりに

今回は、クオリティ・インディケーターのうち、「医療の質」の指標の1つである「退院後4週以内の予定外入院率」と「医療安全」に対する意識、取り組みの指標である「インシデント・アクシデント報告」をご紹介します。今後も科学的根拠にもとづき、質の高い安全な医療を行う上で重要な指標であるQIを定期的に報告していきます。

これまでに紹介したQI以外にも、多くの指標を当院ホームページに公開しております。興味を持たれた方は是非、以下のURLまたはQRコードよりアクセスしてみてください。

<https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/guide/report/>



【お知らせ】2023 年度 秋期市民公開講座を行いました

10月28日（土）に秋期市民公開講座を開催しました。今回は対面とオンラインのハイブリッド形式での開催で、「暮らしと健康～最新の技術を知る～」をテーマに、「無痛分娩」と「大腸がん」についての講座を行いました。当日ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

講演の様子は後日当院ホームページにて公開する予定ですので、ぜひご覧ください。

司 会：呼吸器内科 松倉 聡 教授

第1部：無痛分娩について正しく知ろう
～メリットとデメリット～

（演者：産婦人科 市塚 清健 教授）

第2部：大腸がんリスクを減らす！
～AIが見守る大腸内視鏡～

（演者：消化器内科 三澤 将史 講師）



【お知らせ】ボイラー祭を行いました



11月7日（火）にボイラー祭を実施しました。「ボイラー祭」は、古くから行われていた火の神様に感謝する「ふいご祭り」を由来とする、ボイラー設備のある事業所で行う安全祈願のお祭りです。（「ふいご」とは、火をおこすために用いる道具のことです。）当院でも、ボイラー前に設置している祭壇に向かって安全と安心を祈願しました。

【お知らせ】大みそかの病院食について

師走の風がひとしお冷たく感じられるようになりました。年末の風物詩である「年越しそば」を皆さんは何時ごろ召し上がりますか？

一般的には、大晦日の年を越すまでに食べることが多いようです。地域によっては年が明けてから食べる風習もあり、「ついたちそば」や「元旦そば」などと呼ばれ、年越しそばも様々な呼び名があります。

年越しそばを食べる理由には諸説ありますが、そばが細長く切れやすいことから「健康長寿」や「一年の厄災を断ち切る」などの意味があるようです。

当院でも、大みそかには年越しそばを海老の天ぷらやかき揚げと共に提供させていただく予定です。海老は長寿の象徴、また目玉が飛び出していることから「目出たし」とされ、縁起が良いと言われています。

年末に向けてますます寒さが厳しき折、皆様どうぞご自愛ください。



※写真は昨年度のものです。

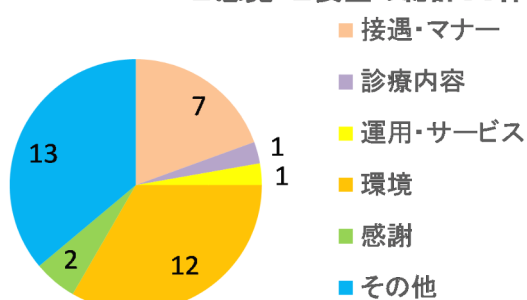
患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんよりご意見箱にいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に、改善策を掲載させていただきました。

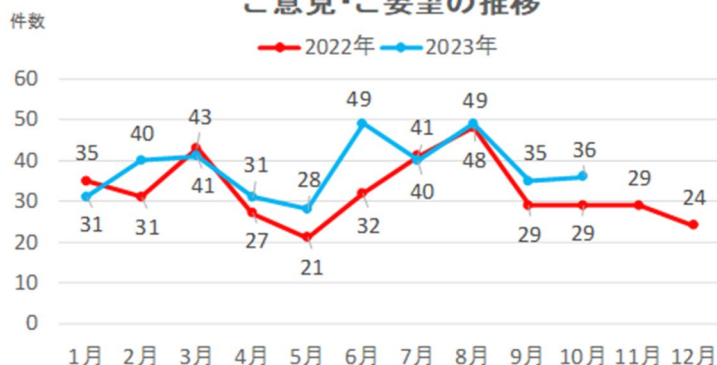
掲載されていない内容についても別途対応しております。

ご意見・ご要望	回答・改善等
中央棟地下1階の自動販売機の横にあるペットボトル・空き缶入れが、利用する度にあふれて入れられない。 夏期だからしかたないことだとは思いますが、改善していただけると嬉しいです。 よろしくお願いします。	この度はご不便をおかけしてしまい、申し訳ありませんでした。 ペットボトル・空き缶の回収頻度を高め、ご不便のないようにしてまいります。 貴重なご意見をありがとうございました。 (回答部署：管理課)
毎月数回通院中の身障者です。身障者駐車場の増設ありがとうございます。 ただ、身障者と思えない方が平気で駐車していて増設の意味がありません。身障者駐車場 使用時のルールとして、警察から発給される『歩行困難者使用中』の証票をフロントガラスに掲示することを ルール化してください。実際にトラブルになりそうな場面を何度か見ましたし、困っている身障者の方も多くいらっしゃいますので、よろしくお願いします。	ご意見ありがとうございます。 当院駐車場の身障者用駐車スペースに駐車される場合には、トラブル防止のため、各警察署が発行する『駐車禁止等除外標章』の掲示を原則といたします。 各身障者用駐車スペースの壁面にその旨を掲示しましたので、ご確認ください。 (回答部署：管理課)

2023年10月
ご意見箱に投函された
ご意見・ご要望の総計36件



2022年・2023年
ご意見・ご要望の推移



【お知らせ】年末年始の外来診療について

年末年始の下記の期間は、外来診療を休止いたします。

外来診療休止期間：

2023 年 12 月 29 日（金）～2024 年 1 月 3 日（水）

上記期間は外来診療の電話予約（予約センター）も休止いたしますので、ご了承ください。
1 月 4 日（木）より通常の診療を行います。皆さまにはご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

診療体制については休日対応となるため、救急センター（ER）
外来での診療となります。受診時は時間外加算および時間外選定
療養費（8,800 円）の費用が発生いたします。

※紹介状持参・当院かかりつけであらかじめ来院指定の患者さんは
時間外選定療養費の徴収はありません。



編集後記

1 年が経つのは早いもので、もう 12 月ですね。

新型コロナウイルス感染症が第 5 類感染症に移行となり、長かったコロナ禍での日々がようやく終息を迎えつつあります。

そんな中、ちょうど 1 年前に行われた FIFA ワールドカップでは、サッカー日本代表が強豪スペインに 2-1 で逆転勝利を果たし、世界に衝撃を与えました。その逆転劇で「三苦の 1 ミリ」が大きな話題となったことで、みなさんも記憶に新しいのではないのでしょうか。私は、この試合で「最後まであきらめない心」と「与えられた環境の中でベストを尽くすための努力」を学びました。大舞台で最後の紙一重で結果を出すために、目標をもって日々努力を積み重ねていきたいと思います。

来年も、周囲の流行にに応じて私たち一人ひとりができる感染対策を継続しながら、旅行や多くのイベントが行える平和な世の中が来ることを祈願しております。（薬剤部 磯崎 遥）

北部病院だより 第186号
2023年12月1日発行

発行責任者 門倉 光隆（昭和大学横浜市北部病院長）

編集責任者 緒方 浩顕（広報委員会 委員長）

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL：<https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>

病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。

